

Zoom Up

憩いやにぎわいを生む健康増進拠点に 新・ふれあいプラザ供用開始

再整備を進めてきたふれあいプラザが、12月1日にオープンします。プールやトレーニングルーム、温浴室の機能をさらに充実させ、新設したスタジオでヨガ・ダンス教室などを開催。皆さんに親しまれる健康増進施設として生まれ変わります。

ふれあいプラザは、環境センターのごみ焼却余熱を使った温水プールなどを備え、1990年に開館。施設が老朽化してきたことから、2018年から再整備を進めてきました。整備には、民間資金活用による社会資本整備（PFI）の手法を採用。七つの企業で構成するふれあいプラザPFIパートナーズ（株）が、民間の知識や経験を生かし、39年まで運営します。

健康増進のために機能を充実

再整備は、地域の声を取り入れなが



場所は金田1156番地。130台分の駐車場を設けた



メインのプールは25m 8レーン（2レーンは歩行用）

再整備の検討に携わった金田東部自治会長の星野晃男さん（67・金田）は「地元の皆さんの意見を取り入れてもらい竣工を迎えた。散歩の途中で足湯に立ち寄り会話をするような、新たな

ら進めてきました。施設が地域にぎわいを広げる場所になるよう、新たに無料の足湯を設置。プールや温浴施設、トレーニングルームの機能を充実させ、他に、気軽に運動できるスタジオも新設しました（左欄参照）。さらに、健康状態や体力などをチェックできる未病センターや、開放的な休憩スペースも設けています。

再整備の検討に携わった金田東部自治会長の星野晃男さん（67・金田）は「地元の皆さんの意見を取り入れてもらい竣工を迎えた。散歩の途中で足湯に立ち寄り会話をするような、新たな

新たな施設は、環境にも配慮しています。ごみ焼却余熱の利用に加え、25年12月以降は、新ごみ中間処理施設で発電した電気を活用。再生可能エネルギーを多く利用した施設となります。生まれ変わった施設の機能を生かし、地域に根差した健康増進拠点を目指していきます。

さらなる機能充実に向けて

コミュニティの場になってほしい」と期待を込めます。

愛TV 12/1~

リニューアルのポイント

【施設の内容】

プール…（新設）流水プール、ジャグジー
トレーニングルーム…（拡充）機器を増設
温浴施設…（増設）浴槽を男女各二つに
（新設）サウナ、水風呂

【新規】

足湯…施設の外に無料の足湯コーナーを設置
スタジオ…健康体操やヨガなどの教室を開催
軽食コーナー…自動販売機を設置
休憩室…にぎわいを生むオープンスペース

環境事業課 ☎225-2791

利用案内

利用には、年1回の登録が必要です。居住地などが分かる物を持ち、施設窓口にお越しください。



詳細はこちら

利用日時

	①平日 7・8月 (土・日曜、祝日含む)	②土・日曜、祝日
プール	9~21時	~19時
温浴	10~20時	~18時
トレーニングルーム	9~21時	~19時

休館日：第3木曜、12月29日~1月3日、施設点検日
閉館時間：①22時 ②20時

利用料金

	区分	市内料金
プール	高校生以上	500円
	小・中学生	200円
	幼児	100円
温浴	高校生以上	470円
	小・中学生	180円
	幼児	80円
トレーニングルーム	高校生以上	400円

市内料金は、厚木市・愛川町・清川村在住
在勤在学の方が対象。回数券や月額利用券あり。
詳細はふれあいプラザHPに掲載



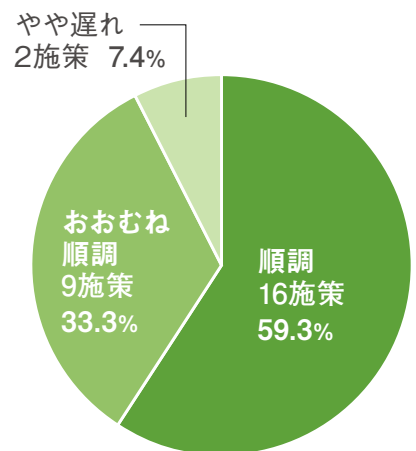
まちづくりの進捗を確認

施策評価の結果

施策評価は、将来のまちづくりの方向性を定めた総合計画の進捗を検証する仕組みです。市民実感度調査の結果、保育施設への入所率などの代表となる指標、ごみ減量化・資源化推進事業などの事業指標の三つの項目の実績から各施策の達成率を点数化し、4段階で評価します。結果はグラフのとおりで、遅れとなった施策はありませんでした。

【今回のポイント】

- 施策全体の9割以上が順調またはおおむね順調
- 実感度は前年度と比べて、77項目中12項目で上昇
- 特に高かったのは「日常生活に必要な施設が身近にある」「消防・救急・救助体制の充実」「子育てサービスの充実」
- 行動変容は前年度と比べて、27項目中18項目で上昇
- 幸福度は、「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計が94.2%となり、前年度から横ばい



詳細はこちら



企画政策課 ☎225-2455